

川上ダム自然環境保全委員会 議事要旨

1 日 時：平成29年3月21日（火） 14：00～16：00

2 場 所：独立行政法人水資源機構川上ダム建設所 ふれあいホール

3 委 員

委員長 池淵周一 京都大学名誉教授

委 員 江崎保男 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授

海老瀬潜一 元摂南大学教授

角哲也 京都大学防災研究所水資源環境研究センター教授（欠席）

藤井伸二 人間環境大学人間環境学部人間環境学科准教授

松井正文 京都大学名誉教授

森下郁子 （一社）淡水生物研究所所長

（五十音順）

4 議事要旨：

（1）川上ダムにおける環境保全への取り組みについて

事務局より資料に基づき説明を受け、川上ダムにおける環境保全への取り組みが進められていることを確認した。指導・助言の内容は次のとおり。

○洪水時における水質調査結果を整理する際には、先行降雨の量や晴天日数も併せて整理する必要がある。

○TOC、特にPOCの測定について、試料水の採り方に注意する必要がある。

○貯水池の水位変動域で生じる植生の変化に注意する必要がある。

○オオサンショウウオについて、仮排水路トンネルを通じた遡上の有無を確認する必要がある。

○ダム下流において、カモガワモの繁茂状況のモニタリングを行うことについて検討すること。

- ナラ枯れについて、現況を把握するとともに、事業者として今後どのように取り組むべきかシナリオを検討すること。
- 外来種が持ち込まれないための啓発の取り組みについて、他の事例も参考にし、より実効的になるように努めること。
- 今後、工事が本格化し、予測できない変化が生じる可能性があるため、有識者への相談の機会を今まで以上の頻度で持つことも検討すること。
- 環境保全の全体像について総合的に検討・立案することが求められている。

以 上